令和８年本宮市教育委員会９月定例会会議録

１　日　　時　　令和８年９月１６日（水）午後１時３０分～午後２時０５分

２　場　　所　　本宮市役所　３階　常任委員会室

３　出席委員

教　　育　　長		大　内　順　一
委　　員（２番）		古　宮　博　文
委　　員（３番）		遠　藤　傳一郎
委　　員（４番）		佐　藤　卓　也

４　出席職員

教育部長	遠藤　勝夫
生涯学習部長	石橋　　淳
次長兼文化課長	松本　敏男
上席参事兼まゆみ保育所長	遠藤　道子
参事兼生涯学習課長	野内　保広
参事兼教育総務課長	遠藤　智顕
参事兼しらさわ図書館長	柳沼　志津子
幼保学校課長	森川　福子
国際交流課長	杉村　裕恵
指導主事	遠藤　知宏
指導主事	浜本　貴洋
（書記）教育総務課総務係長	鈴木　和英

５　傍聴人　　なし

６　案　　件

報告第　６８　号	本宮市議会９月定例会一般質問について
報告第　６９　号	第７９回安達地区小・中学校音楽祭の結果について
報告第　７０　号	第６４回福島県吹奏楽コンクールの結果について
報告第　７１　号	令和８年度全国中学校体育大会の結果について
報告第　７２　号	安達地区中学校英語弁論大会の結果について
報告第　７３　号	第２０回もとみや駅伝競走大会について
報告第　７４　号	本宮市小中学校肥満傾向児童生徒調査結果について

７　審議経過

【午後１時３０分開会】

◇教育長　それでは、ただいまから教育委員会９月定例会を開会いたします。

◎会議録署名委員の指名

◇教育長　会議録署名委員の指名を行います。今回は、２番委員と４番委員にお願いいたします。

――――――――――――――――――――――◇――――――――――――――――――――――

◎報告第６８号　本宮市議会９月定例会一般質問について

◇教育長　報告第６８号　本宮市議会９月定例会一般質問について説明をお願いします。

教育部長。

◇教育部長　それでは、報告第６８号　本宮市議会９月定例会一般質問について報告いたします。

令和８年第６回本宮市議会定例会が今月２日に開会し、今週金曜日までの会期で開催されております。過日行われました一般質問の内容につきまして、教育部、生涯学習部からそれぞれ説明させていただきます。

資料は、２ページ以降をご覧ください。

まず２ページから８ページ目までが、質問の報告、また９ページ以降が関係する答弁資料となっております。項目中、黄色のマーカー部分が教育部の関連、緑色が生涯学習部関連の質問となっております。

まず、教育部所管の一般質問は、５名の議員から質問をいただきました。主な内容を報告させていただきます。

後藤友誉議員の内容については、１９ページから４０ページにかけてとなります。

１つ目に、学校運営協議会委員の報酬の考え方についての質問です。本市は、平成３１年に本宮市学校運営協議会規則を制定し、各学校、または地区単位で運営します７つの学校運営協議会において、協力をいただく委員の身分などを明記しております。

この中で、委員の報酬を無償とし、報酬が伴わない形でご協力をいただいておりました。議員からは、この協議会委員の身分は、特別職の地方公務員に当たるのではないか。また、その場合、地方自治法の規定に照らし合わせると、報酬を支払わなければならない対象となるのではとご指摘をいただきました。この質問を受けまして、教育部で関係法令との兼ね合いについて確認させていただいたところ、法的には、協議会委員は報酬の支払いを行うべき対象と解釈されること。また、福島県や他市の状況を見ますと、年額１万円、または日額で１，０００円か２，０００円を支払いするように随時改められてきた例が多いことを確認できました。

学校運営協議会は、学校評議委員会が前身でございまして、当時はどの自治体でも無償で委員を引き受けていただいたというような例がほとんどでありましたが、これまで関係法令の相関を踏まえた見直しや確認の機会を持てていなかったことが要因と考えております。

今後、法令にのっとった対応を検討させていただくこと。また、これまでの委員に対して、どこまで遡及して対応を行うことが可能かなどについて方針を整理させていただき、早期に関係例規の改正と予算措置を図ってまいりたい旨を答弁させていただきました。併せまして、幼稚園評議員の報酬の扱いについても検討させていただきたいと考えております。

次に、部活動の地域展開の体制整備についての質問がありました。主に本市の進捗状況や、現在、部活動として存在していない部の新設に関する質問でございました。

本宮市は、２９の中学校の部活動がございますが、そのうち１３の部活動において、２９名の外部指導員の確保が図られてきたこと。また、今年度から拠点校部活動として、ハンドボール部とバドミントン部を指定させていただき、他校生徒の活動参加を可能とした取組は、実質地域展開と同じ意味を持ち、地域展開を徐々に進めていることを答弁させていただきました。

次年度以降についても、まずは土日の部活動として、外部指導者の協力の下、中学校の枠を超えて、活動可能な部活動から徐々に展開数を増やしていくため、学校、指導者、保護者代表などによります準備組織を設けながら、今後進めさせていただきたいこと。また、将来的には平日の地域展開も視野に入れながら、本宮市の強みであるコンパクトシティーの優位性を生かした活動場所と移動手段を確立しながら、平日活動の先行事例につながる取組も検討したいことを述べさせていただきました。

なお、部活動の新設や特設部活動のご要望につきましては、まとまった活動のニーズや持続の可能性が見込まれない限り、学校としての新設は難しい状況ですが、初めから地域クラブとして自立したクラブの新設を目指す指導者の方々や保護者がいらっしゃる場合には、設置に向けた進め方を助言していきたい旨の答弁をしております。

次に、田中美代子議員の内容は、４１ページから５３ページにかけてとなります。

令和１１年度開設予定の認定こども園の整備についての質問でございます。

まず、施設の定員に関する質問に対して、まず白沢地区内の対象として、約１１０名、次に、就労要件を要しない市内の３歳児以上の受入れ枠として約３０名、年度の途中で発生しております入所調整がかなわない方々の受入れ枠として、約４０名をそれぞれ見込みまして、合計１８０名程度の定員を想定していることを答えさせていただきました。これに対しまして、この１８０名の定員については、将来に過剰な規模とならないか、心配されるご質問がございました。これについては、市内全体の幼稚園、保育所の現在の受入れ枠が１，１４６名となっておりまして、対象となる児童については１，１５１人であり、比較すると決して過剰ではないことについて説明させていただきました。

なお、市の現状としましては、年長児を預かる幼稚園は定員に対して入所される児童が少ない。また一方の保育所については、年度の途中に待機者が発生する逆転状況にございますので、今後は、計画的に幼稚園から保育所、または認定こどもへの機能へと体制をシフトしていく検討が、今後必要であるということについて、答弁させていただきました。また、認定こども園に対する保護者のニーズ調査に関することや、職員体制、また、専門職の確保に関する内容については、資料に沿った答弁をさせていただきました。

最後に、特に力を入れたい特色ある幼児教育について、どう考えていくのかとの質問がございました。こちらは、白沢地区の認定こども園にぜひ通わせてみたい、子供や保護者が希望を持ち、選ばれる施設、価値のある施設となるため、これまでの幼保共通カリキュラムを土台として、その上に新たに魅力的な独自の教育プログラムを用意していくこと。また、そこに向けた準備のため、あらかじめ保護者との対話や現場の保育士によるワーキング作業を進めていくこと。時代のニーズに着目しながら、それぞれの悩みや育ちに寄り添える施設にしていくことなどについて、答弁がございました。

次に、玉川実議員の内容については、５４ページから５６ページとなります。

定住人口の継続性に対する取組と、今後の方向性についての質問があり、冒頭において、教育部所管の篤志奨学基金、また未来担い手奨学基金の利用状況、さらに中学校卒業後に県外へ転出した生徒数について、資料のとおり答弁させていただきました。

次に、馬場亨守議員の内容は、６０ページから６４ページとなります。

認定こども園整備に関する質問として、新たな施設は１つの施設ではなく、２つの施設として整備するほうが通園の距離の緩和、また、地元工事請負企業の育成に、貢献できるのではないかと問

われました。こちらにつきましては、これまでの総合教育会議や定例教育委員会で協議を重ねた結果であり、４つの施設を１つに整備するのは決定事項であること。また、送迎バスの運行の考えに対しても、現時点では考えはないことを答弁させていただきました。

最後に、渡辺忠夫議員の内容は、６５ページから７０ページとなります。

保育所の入所待機者数の現状。また、なぜ入所待機者が出るのか。さらに今後の解決対策についての質問でございました。

まず、本年９月１日現在の年度途中で生じた入所待機人数は１９名でございます。その全てがゼロ歳児であること。これまではゼロ歳から３歳児までの幅で待機が生じておりましたが、保育職員の確保などをこれまで重ねてきた結果、年々、保育所での受入れ児童数を伸ばしてきたというのは、努力の成果として実績があることについてもお答えさせていただきました。課題につきましては、こどもまんなかへそのまちプロジェクトによります保育所や、給食費の無償化により、保育所利用を希望される方々が、ゼロ歳から２歳児の低年齢児を中心に増えていること。対しまして、保育所の低年齢児の認可定員の枠いっぱい近くまで利用者が迫っている状況にございますので、今後については、保育士の確保や白沢地区認定こども園の整備だけではなく、既存施設の改修や設備の増強により計画的に低年齢児の認可定員数の拡充を図っていく検討が必要であることを答弁させていただきました。

今回の一般質問の特徴は、認定こども園の整備と入所、待機者の解消策に関するものが多い状況でございました。今後、教育委員会委員の皆様に、具体的な改善の方策や幼児教育などのソフト面についてお示しさせていただき、ご意見をいただきながら、よりよい子育て環境の向上を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

以上、教育部に係る答弁内容の報告とさせていただきます。

◇教育長　生涯学習部長。

◇生涯学習部長　それでは、生涯学習部所管の一般質問になります。

今回の質問者は３名でございました。資料は９ページまで戻りいただきたいと思います。

９ページでございますが、こちらは磯松俊彦議員からの一般質問でございます。

地域コミュニティ、地域団体支援についての今後の工夫はというところで、こちらは白沢地区の公民館分館の管理に対するおただしでありました。白沢公民館分館の管理については、和田、長屋、稲沢、松沢分館は、各地域づくり協議会との合意に基づき、委託料をお支払いしまして、管理をお願いしているところでございます。糠沢と白岩につきましては、地元の地域づくり振興会（協議会）等にはお引受けいただいていないために、現在、市で管理している状況でございます。

そこで、委託しているところとしていないところで不公平感があるのではないかとのおただしでありましたので、こちらについては各地区と合意に基づきまして、分館の管理をお願いしているために、不公平感は生じていないと答弁をさせていただきました。

続きまして、１２ページをお願いします。

こちらは、根本利信議員からのおただしでございます。スポーツ広場の環境整備と運営についてです。１２ページでございますが、神座運動場の安全対策についてです。こちらについては、神座運動場については、スポーツ少年団の練習等を見ましても、３塁側はフェンスが低いことから、ボールが市道に出てしまうとのことで、以前に、団子森スポーツ少年団の監督様よりフェンスのかさ上げの要望を受けておりました。しかしながら、昨年、要望を受けましたが、部内での検討が進んでいなかった事実を確認しまして、改めてスポーツ少年団の監督からご意見と要望を確認させてい

ただき、対応をしてまいりたいと答弁をさせていただきました。

続いて、１４ページになります。

こちらについては、グラウンドゴルフ場とパークゴルフ場のトイレについてのおただしでございます。

大会等の大人数が集まる場合については、トイレの数が足りないのではないかとのおただしであります。こちらについては、パークゴルフ協会の会長、さらにはグラウンドゴルフ協会の会長に状況を伺ったところ、一時的に混雑することはあるが、大会運営に対して特段支障はないとの両会長様からの回答でありましたので、両施設とも緊急性がないため、現時点ではトイレの増設は考えていないと答弁をさせていただきました。また、引き続き各協会との連絡調整を密にしながら、現状把握に努め、安全で快適に利用できるよう管理してまいりますと答弁をさせていただきました。

続きまして１７ページでございます。

こちらにつきましては、パークゴルフ場とグラウンドゴルフ場における利用者の熱中症の注意喚起はどうなっていますかとのおただしでございます。現在、グラウンドゴルフ場とパークゴルフ場の管理棟には、熱中症予防の啓発文を掲示しまして、熱中症計測器を配置し、暑さ指数が３１以上になった場合、利用を中止するなどの対応をしてございます。また、熱中症が警戒される日には、受付時や利用開始前に管理人や大会主催者より注意喚起を促していくという状況であるということで、現状の対応についての説明を答弁とさせていただきました。

続きまして、７１ページまでお進みいただきたいと思います。

７１ページになります。こちらは菅野健治議員からのおただしであります。

岳山ふれあいの森キャンプ場の関連の質問になりまして、新たなキャンプ場の設置場として、白沢運動場はどうかとの提案がありました。その中で、まず白沢運動場の利用の頻度についてですが、白沢運動場は、ソフトボール大会や南達陸上などで利用されております。昨年度は３７件、１，４９２名の利用がございました。また、ロードレース大会など、駐車場としても必要な施設になっている状況を説明させていただきました。

７２ページの資料ですが、産業部長の答弁で白沢運動場も含み、現在のところ市内に新たなキャンプ施設を整備する予定はないと答弁をさせていただいた内容になってございます。

生涯学習部からは以上になります。

◇教育長　それでは、報告第６８号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長　では、質疑を打ち切らせていただきます。

―――――――――――――――――――――◇―――――――――――――――――――――

◎報告第６９号　第７９回安達地区小・中学校音楽祭の結果について

◇教育長　報告第６９号　第７９回安達地区小・中学校音楽祭の結果について説明をお願いします。

幼保学校課指導主事。

◇幼保学校課指導主事　報告第６９号について説明いたします。

７３ページをご覧ください。

線の上が合唱、下が合奏に分かれております。上の合唱からお話します。

第１部合唱です。８月２０日に安達地区の音楽祭が二本松の市民会館で行われました。小学校では、６校中３校が県大会代表という中、本宮市から３校が出場し、２校が金賞、まゆみ小学校、岩根小学校の２校が金賞で、県大会へ代表として出場になりました。

続きまして、県下小中音楽祭です。９月１日喜多方プラザ文化センターにて行われました。本宮市の結果として、まゆみ小学校が銀賞、岩根小学校も銀賞の結果となりました。

合唱については以上です。続きまして、下の合奏です。

合奏につきましては、中学校が参加しております。９月１１日に安達地区小・中学校音楽祭が二本松市民会館で行われました。参加９校中２校が県大会代表でしたが、本宮市の中学校は全て金賞、そして本宮一中と白沢中学校が県大会に進出することになりました。県大会は１０月７日福島市ふくしん夢の音楽堂で行われます。報告は以上です。

◇教育長　それでは、報告第６９号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長　では、質疑を打ち切らせていただきます。

――――――――――――――――――――◇――――――――――――――――――――

◎報告第７０号　第６４回福島県吹奏楽コンクールの結果について

◇教育長　次に、報告第７０号　第６４回福島県吹奏楽コンクールの結果について、説明をお願いします。

◇教育長　幼保学校課指導主事。

◇幼保学校課指導主事　報告第７０号についてお話しいたします。７４ページをご覧ください。

８月２日、けんしん郡山文化センターにおいて、第６４回福島県吹奏楽コンクールが行われました。３０校が参加しておりますが、３番、本宮一中が銀賞、１６番、白沢中学校が銀賞、２９番、本宮第二中学校が金賞の結果になりました。金賞ですが、上位大会に進出することができない金賞でございます。以上が県大会での結果の報告でした。

◇教育長　それでは、報告第７０号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長　では、質疑を打ち切らせていただきます。

――――――――――――――――――――◇――――――――――――――――――――

◎報告第７１号　令和８年度全国中学校体育大会の結果について

◇教育長　次に、報告第７１号　令和８年度全国中学校体育大会の結果について説明をお願いします。

◇教育長　幼保学校課指導主事。

◇幼保学校課指導主事　それでは報告第７１号、７５ページをご覧ください。

全国中学校大会は、東北大会で上位大会進出の結果を得た本宮一中の原　鳳芽さんが、総社市のスポーツセンターで、８月２１日から２４日の間、卓球男子個人の部に出場しました。結果、１回戦は突破したのですが、残念ながら２回戦で敗退しました。

同様に、陸上大会の全国大会が行われ、出場した２名については、県大会で既に標準記録を突破している２名でした。走り高跳びは、橋本さんが１メートル８０センチで３３位、走り幅跳びの小林さんが５メートル１１センチで３４位の結果でした。

そして、中学校の部活動ではなく、クラブチームからの参加ではありますが、全国中学校ソフトテニス大会に二本松ジュニアに所属する伊藤さんが参加しました。１回戦は勝利しましたが、残念ながら２回戦で敗退の結果となりました。報告は以上となります。

◇教育長　それでは、報告第７１号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長　では、質疑を打ち切らせていただきます。

―――――――――――――――――――◇―――――――――――――――――――

◎報告第７２号　安達地区中学校英語弁論大会の結果について

◇教育長　報告第７２号　安達地区中学校英語弁論大会の結果について説明をお願いします。

◇教育長　国際交流課長。

◇国際交流課長　安達地区英語弁論大会の結果についてご報告させていただきます。

資料、７６ページから７７ページをご覧ください。

こちら横判仕様のため、拡大してご覧いただきますようお願いいたします。

報告第７２号　安達地区中学校英語弁論大会の結果についてご報告いたします。

今回､英国訪問参加者が大会で活躍しておりますので､国際交流課から報告させていただきます。

安達地区英語弁論大会は、８月２６日に開催され、英国訪問参加者３名を含む市内中学生１２名が出場しました。金賞は創作の部から４名、暗唱の部から３名、計７名が受賞し、市内全ての中学校から金賞受賞者が輩出されました。

創作の部では、白沢中学校の森川翔海さんが優勝し、県大会へ出場します。スピーチの題名は、Breaking the Polite Wall:What I Learned in the UK､礼儀の壁を破ろう､英国で学んだことです。

レストランのウエーターをはじめ、英国訪問で出会ったイギリス人たちがジェスチャーや簡単な英語を使って、世界中の誰とでもつながり、コミュニケーションを取る様子から、言語の壁を越えて積極的に人とつながるすばらしさを学んだこと、そのことを伝えてくれました。

英国訪問の成果について、県大会でも多くの方へ広めてくれることを期待し、以上、報告とさせていただきます。

◇教育長　それでは、報告第７２号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長　では、質疑を打ち切らせていただきます。

―――――――――――――――――――◇―――――――――――――――――――

◎報告第７３号　第２０回もとみや駅伝競走大会について

◇教育長　報告第７３号　第２０回もとみや駅伝競走大会について説明をお願いします。

生涯学習部参事。

◇参事兼生涯学習課長　それでは、第７３号　第２０回もとみや駅伝競走大会について報告いたします。資料、７８ページ、報告第７３号資料をご覧ください。

第２０回もとみや駅伝競走大会参加チーム一覧ですが、申込期限は９月１８日金曜日までとなっており、９月１４日月曜日時点の参加件数となっております。２４チームのご参加となっておりますが、最終的には約４０チームの参加を想定しております。次ページをご覧ください。

本宮市誕生２０周年記念プレ事業として、各小・中学校のタスキを作成いたしました。当日は、このタスキをつないで大会を盛り上げていきたいと考えております。なお、当日は多くのボランティアの方々に大会役員、競技役員としてご協力をいただき、一般道で開催するイベントでありますので、安全確保をはかりながら競技を進めてまいりたいと考えております。

また、大会長は高松市長、大会副会長大内教育長、教育委員の皆様には参与としてご協力をいただきながら、事故なく開催してまいりたいと考えております。以上、報告とさせていただきます。

◇教育長　それでは、報告第７３号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長　では、質疑を打ち切らせていただきます。

◎報告第７４号　本宮市小中学校肥満傾向児童生徒調査結果について

◇教育長　次に、報告第７４号　本宮市小中学校肥満傾向児童生徒調査結果について説明をお願いします。

幼保学校課指導主事。

◇幼保学校課指導主事　報告第７４号について申し上げます

８０ページをご覧ください。横長になっているため、少し小さくなっております。拡大してご覧頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。

８０ページには、小学校の男子と女子の結果が載っております。男子の一番下がＲ７年度の合計で、一番右端が肥満の子たちの割合を全部まとめたもので、令和７年は１２．７％だったのに対し、令和８年度では１３．１％、少し肥満児が増えていることが分かります。Ｒ７の県や県北と比べると、県よりはよかったものの、県北よりは大分肥満度が高いことが見て取れると思います。

県と県北の比較だけでなく、昨年度の同じ集団と比べたときに、肥満度の変化を色で表示しております。赤い表示は昨年度よりも肥満率が上がったところ、青で表示が昨年度より肥満率が下がったところ、白いところは同等となっております。小学生男子は、非常に肥満率が上がっていることが分かるかと思います。これは少し大きな課題であります。県と比較する以上に、課題であると考えております。

下が小学校女子、小学生の女子になっております。同じように令和７年度と８年度を比較すると、１３．２％、１３．３％とあまり値は変わっておりませんが、県北、県と比べると、大分肥満が多い状況が見て取れると思います。

肥満率の変化の色別に関してですが、低学年で肥満が増えております。高学年になるにつれ、背が伸びるということもあり、少し肥満率が下がってくる状況と思っています。

一番下の表は、市全体の比較になります。一番右端が肥満度を全てまとめたパーセンテージになりますが、ここは令和７年度１２．９％、令和８年度１３．０％となっております。

小学生についてですが、今の小学生の年代は、３歳から５歳の運動能力が非常に発達すると言われている時期をコロナ禍で過ごした子供たちになっております。人との交流をなるべく避けることを言われてきた中で、みんなと一緒に運動する機会が少なかった子供たちなのかなと考えております。下の文のところの最後の段落で、対策について３つの視点を上げさせていただいております。一番下の段落、読ませていただきます。

対策については、データを踏まえて分析を加えた上で、現在行われている各学校の肥満児童・生徒に対する活動の確認を行い、対策として肥満による健康上のリスクを子供たちが知るための取組み、自分の生活習慣について知り、自分で調整する能力を身につけるための取組み、運動に親しむための取組みに分類して検討していくとありますが、小学校については、今申し上げたところから運動に親しむところに重きを置いて、学校に伝えていけたらいいかなと考えているところです。

８１ページは中学校の状況になります。

中学校の男子は、令和７年度の肥満率の合計が１３．７％だったのに対し、令和８年度で１５．３％と大きく増加していることが分かります。中学校の女子は、１１．２％から１１．３％、ほぼ同じとなっておりますが、これも右端に全国の７．４９％と比べると、大分離されているということは、相変わらず福島県の課題としているところです。一番下の市全体で見ましても、中学校が令和７年度１２．５％だったのに対し、令和８年度では８３．４％と、肥満度が上がっていることが分かると思

います。

色別で見ると、肥満率が下がっているというところが多いのですが、一方、男子の真ん中に、高度肥満と書いてあるところがありますが、その高度肥満の数は非常に多い状況が見て取れます。なので、青色が多いことは何となく改善されているようには感じますが、今後の肥満に対する手だてと申しますか、少し不足しているのかなと考えているところです。

こちらも、一番下のところの対策としては同じなのですが、中学校では、肥満による健康上のリスクを知るための取組みということと、自分の生活習慣を見直してく取組みに力を入れて、自分の生活をコントロールしていく、マネジメントしていく力を身につけさせていくように、学校側と協力しながら取り組んでいきたいと考えているところです。報告は以上です。

◇教育長　それでは、報告第７４号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長　では、質疑を打ち切らせていただきます。

―――――――――――――――――――――◇―――――――――――――――――――――

◎その他

◇教育長　次にその他、事務局等から報告等があれば、お願いいたします。

生涯学習部参事。

◇参事兼生涯学習課長　では、生涯学習課から、教育委員の方々にお知らせをしたいと思います。

お手元の資料のドリームベースボールのチラシをご覧いただきたいと思います。

先月、８月の定例教育委員会で、ドリームベースボールの内容を報告させていただきましたが、去る９月９日に、全戸配布で市民の方々にチラシを配布させていただいております。

併せまして、入場整理チケットを現在、４施設で、総合体育館、白沢公民館、中央公民館、Ｍｏｔ．Ｃｏｍもとみやで、配布してございます。委員の皆様にも封筒にチケットを配布させていただいておりますので、ぜひお越しの上、大会を盛り上げていただければと思います。

報告としては以上となります。よろしくお願いします。

◇教育長　その他ございますか。

生涯学習部長。

◇生涯学習部長　すみません。私からは、情報共有も含めまして３点ほどございます。

まず、市町村対抗軟式野球の結果でございます。９月５日、９月６日に１回戦で楢葉町と対戦しまして、１対ゼロで勝利。２回戦は二本松市と開催しましたが、３対１４で惜しくも敗退となりました。昨年度は準優勝でありましたが、今回は２回戦敗退となりました。

また、１０月４日からは市町村対抗のソフトボール大会が始まります。１回戦は平田村と対戦しますので、しっかり応援をしてまいりたいと考えております。

続きまして、ハンドボールのリーグH公式戦の進捗状況でございます。

本来であれば、本日チラシを準備して、委員の皆様にご確認をいただきたい予定をしておりましたが、１２月５日の午前に女子のエキシビション、男子の公式戦を午後に行う状況でまとまっておりますが、詳細、スケジュール、もう少し詰める部分がございますので、１０月上旬のチラシ発送を目指しまして、急ピッチで進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解のほどお願いしたいと思います。チラシができましたらば、配布いたしますときに、ＬＩＮＥ　ＷＯＲＫＳ等で周知させていただきたいと思っております。

最後になります。今９月４日から開催のミュシャ展、アルフォンス・ミュシャ展では、内覧会に

ついてお世話になりました。

現在ですが、９日目を迎え、昨日までで８７５名の方が来館しております。また、ミュシャのグッズの売上げについては、１８３万円分とかなりの売上げになってございます。また、３０万円と１５万円と１２万円の作品も販売している状況でございますので、経過をこれからも見守っていきたいと思っていますので、よろしくお願いしたいと思います。

以上です。

◇教育長　その他ございますか。

〔発言する人なし〕

―――――――――――――――――――――◇―――――――――――――――――――――

◎次回開催日程について

◇教育長　なければ、次回教育委員会の日時を決めたいと思います。

総務係長。

〔次回開催日程について協議〕

◇教育長　それでは、次回教育委員会は１０月２１日水曜日、午後１時３０分開会といたします。

―――――――――――――――――――――◇―――――――――――――――――――――

◎閉会の宣告

◇教育長　これをもちまして教育委員会定例会を閉会といたします。

【午後２時０５分閉会】

この会議録は真実と相違ないことを認め、ここに署名する。

令和　８　年　９　月　１６　日

教 育 長＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２番委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４番委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書　　記＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿